資材・機材選定理由書

令和　　年　　月　　日

１．資材・機材名

○○○○○社製　○○○○○ ○○型

２．販売業者名

＋＋＋＋＋＋

所在地・TEL・FAX・担当者名

販売店が複数ある場合は2社以上記入する。

３．選定理由

(1) 資材・機材の必要性

実証事業での用途概要と関連して資材・機材（装置）の必要性を記入する。

(2) 導入する資材・機材の要求仕様

実証事業での用途の上で要求される仕様を下記の例のように記入する。

1. ＊＊機能であること。
2. ＊＊機能（加工精度〇mm以下）であること。
3. 納期（△以内）であること。

　・

　・

　・

の性能（仕様）条件を具備したものでなければならない。

現在市販されている同性能の機種について比較したところ下記のとおりである。

　※性能については、必要最小限を表した定量的表現であること。

　　 「高い」「大きい」といった表現は避け、「少なくとも＊＊以上」といった記述にする

(3) 比較表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 性能（仕様）条件 | ○○社製○○ | △△社製△△ | □□社製□□ |
| ①　＊＊機能 | ○ | ○ | × |
| ②　＊＊機能（加工精度〇mm以下） | 10 | 20 | 10 |
| ③　納期（△以内） | 1カ月 | 3カ月 | 1カ月 |
| ・・・ |  　○ |  　○ |  × |
| 総合評価 | ○ | × | × |

　以上のとおりに性能（仕様）条件を全て満足する特性を有する機種は○○社製の○○○○型以外にない。

※注意　同日付以降で販売業者から見積書を徴収すること。

＊販売業者が複数ある場合は相見積書（原則３社以上）を徴収すること

＊販売業者が1社の場合は業者選定理由書を作成すること。

「選定理由」記載上の注意

**「選定理由」について**

**選定理由は、以下の５項目で構成して下さい。**

　①　資材・機材（装置）の必要性

　　　実証事業の遂行上、当該物品が選定した品目等でなければならない具体的理由

　②　資材・機材（装置）の要求仕様

　　　実証事業に取組むにあたり必要な仕様及び、その仕様（スペック）が必要であるかの理由。

　③　資材・機材（装置）の比較表

1)　比較の項目は③の要求仕様の項目と対応させること。

2)　各項目の評価は、要求仕様を「満たす」か「満たさない」のどちらでかである。従って、他の機種より「より良い」からいいという評価は不可。

3)　比較の対象はあくまでも「性能」。次に価格による比較。

　④　資材・機材の決定

　　　製造業者等が高度の技術、経験を有し、かつ信頼できるものである内容。

　⑤　製造業者の決定（製造業者を指定する場合）

 　特許権保有等その企業の製品でなければならない内容。

通常取引があり、状況把握ができて迅速な対応ができる等は理由にならない。